

科目名	情報系資格対策講座 4							年度	2025
英語科目名	Information System Qualification Course 4							学期	後期
学科・学年	ITスペシャリスト科 2年次	必/選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	(白幡 知之)		教員の実務経験	(あり)	実務経験の職種	(プログラマ)			
【科目の目的】									
<p>基本情報技術者試験はIPAが主催する国家資格の一つであり、高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けたことを証明する資格である。本資格はIT業界で開発者として働いていくために最低限必要とされている資格であり、遅くとも入社後3年目までには取得を推奨していることが多い。したがって、4年間にわたり、情報系資格対策講座1～8の講座で就職する前に基本情報技術者合格を目指すとともに、IT業界の基礎知識を身に付けることを目的とする。</p>									
【科目の概要】									
<p>学年ごとに目安とされている資格の合格を目指しながら段階的に基本情報技術者合格を目指していく。徐々に個々の資格取得状況に差異が出てくるため、講座は学年や専攻に関わらず、目指す資格ごとに開講される。</p> <p>情報活用検定3級・2級→ITパスポート→基本情報技術者科目A→基本情報技術者科目B（科目Aと科目B合格により基本情報技術者合格）の順に合格することを推奨としており、合格している資格によって自動的に受講講座が決定する。基本情報技術者に合格した場合、さらにその上位資格や専門性に特化した講座の選択が可能となる。</p> <p>なお、当該試験の日程が固定されておらず、随時受験が可能な場合は、合格し次第、以降の授業は免除、あるいはその上位資格の講座の履修が可能な場合もある。</p>									
【到達目標】									
基本情報技術者試験 科目A合格									
【授業の注意点】									
<p>過去問や問題集の実施とその解説が中心になるが、各自の弱点の克服など授業時間以外にも学習に取り組むことが必要である。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。</p> <p>講座の対象となる資格は期間内に必ず受験すること。</p>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル3 ふつう		レベル1 要努力				
到達目標 A	基本情報科目Aに合格した		ITパスポートに合格した		ITパスポート不合格				
【教科書】									
講座で指定された教材									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
<p>S：基本情報科目Aに合格した A：ITパスポートに合格した（している） D：ITパスポート不合格</p> <p>尚、75%以上の出席を必須とし、これを下回った場合は評価対象外（不合格・未履修扱い）となる。</p>									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名	情報系資格対策講座 4							年度	2025

英語表記		Information System Qualification Course 4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	資格試験の概要	試験概要を理解する	オリエンテーション	試験の概要や進級要件を理解する	3	
2	試験対策	試験に合格する	過去問や問題集の実施・解説	過去問や問題集を中心に解き、解説を聞いて得点を伸ばしていく		
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						